

事業番号	事務事業名	防災イベント開催事業費	所管課名	くらし安全課	令和 3 年度課長名	小原 克則
00719	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	生活安全係	担当者・シート作成者	山本 翔大
	施策名	41 防災対策の推進	根拠法令等	災害対策基本法、鏡野町地域防災計画		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	(事務事業の内容) 学校等に出向いてイザ！カエルキャラバン！の資料を活用した体験型防災講座をテスト実施。 (業務の内容) 実行委員会の創設、出張防災講座の企画、学校への調整、実施。	コロナ禍による「イザ！カエルキャラバン！」の中止に伴い、新しい生活様式に則した防災教育を継続して実施する必要があったため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 小学生以下の町民	ア 町民(12歳以下)人口	人	見込 実績	1,100 1,260	1,210 1,117	1,063 1,065	1,063	1,063
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 親子で楽しく防災知識を学び、災害に備える	ア 日頃から防災の備えをしている町民の割合	%	目標 実績 達成率	70.0 40.9 58.4%	80.0 44.1 55.1%	50.0 44.0 88.0%	55.0	60.0 73.3%
イ 防災に対して関心を持たせる	イ 来場者数	人	目標 実績 達成率	300 300 100.0%	300 43 14.3%	400 126 31.5%	200	200 63.0%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア イベント参加(スタッフ)依頼	ア 参加団体	団体	目標 実績 達成率	7 10 142.9%	7 6 85.7%	7 6 85.7%	7	7 85.7%
イ 企画会議	イ 会議数	回	目標 実績 達成率	3 3 100.0%	3 2 66.7%	4 3 75.0%	4	4 75.0%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 15		大事業 中事業					事業番号	
	一般会計		総務費		総務管理費		防災諸費		01 02 防災イベント開催事業費						
予算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	00719	
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	1,058	1,113	1,263	1,000	1,000	150	一般財源	918	0	262	1,000	1,000	262		
合計	1,058	1,113	1,263	1,000	1,000	150	合計(A)	918		262	1,000	1,000	262		
財源名称	従事正職員人数						1	3	2	2	2	-1			
	延べ業務事務時間						80	50	50	80	80	0			
	人件費計(千円)(B)						280	167	168	274	274	0			
	最終予算額		1,263 千円		予算執行率		20.7%		トータルコスト(A+B)		1,198	167	430	1,274	1,274
主な 支出事業内容 (予算)	委託料					1,179 千円		主な 支出事業内容 (決算)	委託料					252 千円	

事業番号	00719	事務事業名	防災イベント開催事業費	所管課名	くらし安全課
------	-------	-------	-------------	------	--------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 新型コロナ禍により多くのイベントが中止になった。防災イベントも対象が子どもであり、不特定多数の参加者が集うため中止としたが、防災教育は継続的に行う必要があり、同様の防災イベントも予約制にするなどの方法で小規模ながら実施されている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 実行委員会を創設し開催判断等を検討した。また、「新しい生活様式」に対応した防災教育として、「出張防災講座」を新規事業として行った。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 中止となった「イザ! カエルキャラバン!」は再開の声がある。また、出張防災講座の受講者には地域の特性に合わせた内容と、少人数による講座が好評だった。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	防災教育(啓発)は、激甚化している災害に対し、町民の意識啓発に必要であり防災対策の推進を若い世代に向けて行う唯一の事業である。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	防災教育(啓発)は、公助・共助・自助の啓発も兼ねて、町民の生命を守る重要な事業であるため町が率先して行う必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	現在は、子ども及び子育て世代を対象として若い世代が対象となっている。高齢者等は地域での出前講座等を行っているが、今後、全世代に対応して包括的な事業を検討する必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	不特定多数の参加者を募り開催する防災イベントは2年連続で中止となった。出張防災講座は、実施できる回数に制限があるため1年度ですべての学校及び園を網羅する仕組みを検討する必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?) <input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	本事業は、町唯一の防災イベントであり、出張防災講座も小学生等が防災に触れる数少ない機会であるため、廃止の影響は大きい。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	本事業は、委託して実施おり、役割分担をしている。実施回数が少ないため実施回数が増えることで新たな課題等が判明し、実行委員会等により改善していく。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	本事業は、防災イベント資材を有する団体へ委託が必要であり、今年度より町内団体へ委託変更し、より細やかな連携ができ、令和元年度より安価となっている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	本事業は、最低人員で行っており、実行委員会を創設したことによる、外部団体の協力が要請できているため削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	本事業は町民(子ども等)を対象としており、参加希望があれば参加できる体制であるため受益者に偏りはなく公平である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	新型コロナ禍による中止のため防災イベントは改善策を実施できていない。出張防災講座は防災イベントに代わる事業として教育関係者には好評であるが、実施できる回数に制限があるため1年度ですべての学校及び園を網羅する仕組みを検討する必要がある。																						
B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<p style="text-align: center;">今後の改革改善案</p> <p>・防災イベントは令和元年度の反省を生かし、感染症対策を行って実施。 ・出張防災講座は好評だったが、今後回数を増やす必要がある。</p>																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
参加者の感染予防対策方法についての検討はしているが、感染症に関する状況は日々変化しているため、随時検討が必要。																							